

伺いました。

منتهي 92 ****

発行者 滋賀県PTA連絡協議会 滋賀県PTA安全会 会長松浦洋子 松広竹 委謄 報田 . 員写 制 作 会 刷 堂 印

てきました。
もたちの健やかな成長を願う取り組みの実践を紹介しもたちの健やかな成長を願う取り組みの実践を紹介しず、子どが年度は、地域と連携し絆を結ぶことにより、子ど

今回は、一歩進め保護者・学校・地域が、組織の

成果を出した実践別を召と、……、ひとつの目標にむかってそれぞれの立場からアプリとつの目標にもかってそれぞれの立場からアプリンとのできます。

保護者、学校、地域が組織となり

ロジェクトを進める子育て

竜王町PTA・地域連携

歯科医師 小島先生と竜王 組みをされている竜王町のに興味をもち、実際に取り 保護者のかかわり方に非常 動」の取材に行きました。 生と保護者の方からお話を 中学校の養護教諭 若井先 いる「竜王チャチャチャ運 が一体となって取り組んで して、地域とPTAと行政 むし歯をなくそう運動と る。 まずは、

活動の意義であり、 を飲みましょう!」 意欲的に取り組みに参加し スやスポーツ飲料よりお茶 連携して、 のどが乾いたら、ジュー 大人も子どもも 地域と がこの 小島先生

ている。

歯科医師 上である。 さを教えた。現在、 どもたち自身へも歯の大切 学校とも連携を取り、

子ども

現在も継続している。きったとか予防が出来ないかりは、当時竜王町の小かけは、当時竜王町の小のもし歯数だったため、ないかけは、当時竜王町の小りない。 として始めた取り組みであ 平成十二年から始まり、

を教え続けられた。結果、が生える前から歯の大切さ渡者に歯科指導を行い、歯たので、十か月健診から保 ここから保護者とのつなが 原因を探し出した。乳児期いをして、家庭調査を行い に取り組んで頂けた。 そろう頃には意欲的に活動 りが持てたため、歯が生え にはすでにむし歯が多かっ

たのか? (きっかけ)

啓発を行うのも、 を得ることが一番難しかっ ちゃんおばあちゃんの理解 歯数が圧倒的に多かった。 居されている子どものむし ちゃんやおばあちゃんと同 では高齢者の方々の歯に対 取り組みを始めるにあたっ する意識も変わり、 て困ったこと 家庭調査をして、 根気よく説得をして、今 、健康増 おじい おじい

進のお役にたてている。 たのか? 学校、保護者・地域(行政) との連携はどのように行っ

きるだけ多くの住民の皆さ 協力して現状を伝えた。で んに危機感を持ってもらっ まずは、 学校・行政

歯の知識が豊富である。) 診などを通して、たくさん 作詞するなど、意欲的に活 の知識を持ってもらった。 (今では、保護者も学校も シンポジウムや講演、検 歯磨きソングを保護者が

一年に2回と回数を増やし 歯科検診後の事後指導も 短期間での変化に対応

学校や園にお願

動に参加している。

実際活動してみて、よかっ 識を理解できる頃では遅 【保護者】歯についての知 たことや困ったこと じている もたちは幸せだなぁと感 している。竜王町の子ど ていただいたことに感謝 いので、早い段階で教え

ど誰よりも早くわ 見て、家庭環境の変化な 子どもたちの歯の状況を 校】検診のたびに、

> 忘れてしまうので 電話で連絡をいれ れないようにして れないようにして 【地 域】検診などきて助かっている。 もを見ることがで 注意して子ど

ならない家庭やハ指導をしなければまだまだ個別的に 滋賀県で一 目を向けていきたらは、歯周病にも している。これかイリスク児は存在 歯数は0ではない。 なったもののむし 一今では 一番に

取材を終えて

に協力しているすば校C地域がA組織的校C地域がA組織的 のため、今もなお継 子どもたちの未来

出来ました。ジュースやらしい活動を伺うことが スポーツ飲料が全くダメと 言うわけではなく、



に参加してくれることを心える立場にたって地域活動 り、今度は歯の大切さを教れた子どもたちが大人にな るようです。 活動の流れが出来ることを の対応がきちんと出来てい 域が協力しあうことで良い ことや、学校・保護者・地 材育成にも一役かっている ました。 島先生のお話が印象に残り から願います!」という小 地域の子育ては未来の人 最後に、「大切に育てら

で飲んでいるので、その後 が、十分な知識を持った上 ご褒美として与えては

平成25年度 滋賀県市町別一人平均永久歯むし歯数 本 (小学校6年生) 1.4 12 1.0 0.8 0.649本 0.6 0.4 0.2 0.0 Α В С D Ε F G Н Κ M N 0 Р Q R S J L 滋賀県ホームページより

異国 情緒 語らい 豊 かな 学び合いを 長 崎

私が変わればあなたも変わる あなたが大事 私も大事 命を支える育ちあい

平成26年12月10日(2)

ました。それぞれの分科会で熱心な討議が展開されま 成をPTAの使命として、長崎で全国大会が開催され した。そのうちの4分科会を紹介します。 人を思いやるやさしさ、粘り強く努力する子どもの育 |親子の触れ合いを大切に!||困難にくじけない強さや

活発な組織作りに 学び合おう うい

·%·%·&

なことかと感心しました。 さんが少しでも等しくステー とに驚きました。参加者の皆 ステージが真ん中にあるこ 早市中央体育館で開催されま が見えるようにしたそうで た。会場に入って一番に、 長崎県中央部に位置する諫 創意工夫とは、このよう

員参加型のワークショップが等について意見交換をし、全 は何か」「活動の活性化のヒ ました。参加者の十二名を ント」「組織づくりへの助言」 も交えながら進めていかれ ターの池田尚氏がギター演奏 ステージによんで「PTAと 分科会では、コーディネー 共有が難しい等」また反対に 見がまとまりにくい・情報の 「役員が多くて困ること=意

て「子どもたちの明日の童が域や学校そして行政もからめ 単に、単位PTAで行われて 普段から思っている話も多く ものではない」という、私が 行われました。 でました。 いる活動だけしていたら良い PTAという組織は「ただ 家庭はもちろんのこと、 「役員が増えて良かったこと

ました会長は当然ながら一名 う諫早市立小栗小学校PTA うであはりませんか!」と 間担当して頑張っているとの が担当する専門部があり、な ですが、数名おられる副会長 が少ない中、工夫をされてい 校の育友会役員は、なり手 の発表がありました。この学 輝ける社会づくりをして おかつ会長補佐までおられま ことでした。 度役員になると、数年 w.w.w

じめが増え、隠蔽されること

参加が増えた」等々の意見も 出ました。 親がすることが多く活動への 知り合いが増えた・役員を父 個人の負担が軽減された・ ·&·%·&·%·&·%

学校の役員ができることの喜 今後も精進せねばと強く思い びと感謝の気持ちを持って、 自分の子どもが通っている %.%.%.%.%.%.%.

「子どもたちの明日の瞳が

聞き、生きる勇気をいただき り部から、すさまじい体験を ました。 らっしゃらない被爆体験の語 まりました。多くは残ってい 小学校の児童による合唱で始 の児童を失った長崎市立山里お話と原爆により一三〇〇人 被爆体験者、 下平作江氏

経験を元にしたお話を聞きま ▼最近の傾向は、心理的ない マに実際にカウンセリングの 守る子どものいのち」をテー の倉成央氏から「いじめから もあるメンタルカウンセラー 基調講演は、臨床心理士で

悪いという気持ちになる。大 寄り添うこと。 切なのは、子どもの気持ちに 子どもを責めることで自分が 「なぜ早く言わなかった」など、 が多くなった。 いじめの相談を受けた親が

親に心配や迷惑をたくさんか という心理がある。子どもは きの親の対応は。 ▼子どものいじめを知ったと けていいのだと伝える。 ▼子どもが話さない理由に 「親に心配をかけたくない」 子どもの気持ちを受け入

講演の終わりに愛称「ひまわ 米倉けいこ氏による朗読があ り先生」の心理カウンセラー 子どもの味方だというこ とを態度だけでなく言 葉で伝える 子どもを信じる

受け止める場所であることだ

家庭が「ありのままの心」を 社会を問題視し、重要なのは、 受け入れようとしない大人や は、いい話は聞いて嫌な話をパネルディスカッションで

というお話を聞きました。

止」ファミリープログラムの組んでいる「いじめの未然防 が、この研修に取り組まれた ○五PTAのうち九七PTA 成二五年は、長崎市にある ながら、説明されました。平 の内容を実際のビデオを交え だきました。研修プログラム 崎市教育委員会生涯学習課の 紹介をファシリテーターで長 会とPTAが協働して取り 瀬裕之氏から発表していた 実践発表では、 教育委員

りました。

PTAが窓口の団体制度だから保険料が

60%割安!

年度の途中でもご加入いただけます。 ランは 4 タイプ (年間保険料 6,000~12,000円) 学校内外問わず、 夏休み期間の外出先やレジャー中の事故も補償されます。



傷害補償



自転車事故も補償



賠償責任補償



特定感染症補償



育英費用補償

資料のご請求・お問い合わせは

(平日9:30 滋賀県PTA連絡協議会「園児・児童・生徒 24 時間総合保障制度」係 **55** 0 1 2 0 - 5 7 7 - 4 1 5 ~17:00)

を乗り越えて 〜地域と共につなぐPTA活動

原復興アリーナで行われまし その後見事に復興を遂げた島 雲仙普賢岳の噴火で被災し、 第5分科会は、二十三年前 長崎県立島原農業高校の生

での避難生活の苦労や、学校わった方々が、当時の体育館 ションでは、被災当時、行政・ 鼓演奏の後、平成三年九月徒さんによる素晴らしい和太 も家も火砕流で消失して意気 新校舎完成 南島原市立大野木場小学校の 十五日の大火砕流で消失した |校歌「生きていたんだね |二||日) までの実践発表や第 その後のパネルディスカッ ·校・生徒という立場で関 合唱が行われました。 (平成十二年二月

消沈するなかで、 子ども

> リアルに語られました。 習のために公民館などを使 て教育の再開を行った背景を 被災三日後に授業が再開さ

> > となく避難できたのは、

が?」と戸惑いも感じた子れた当初は「こんな時に学校 が、三位一体の取り組みで行たのは、地域・学校・保護者 宅の問題にいち早く対応出来 を失くした悲しみが軽減され 会うことによって家や行き場 どもたちも、友達と授業で 大切さを教えていただきました話など、改めて地域連携の 応のスピードアップに繋がっ 政に要望していった事が、対 た話や、また、教育や仮設住

と」というタイトルで、 ためにわたしたちができるこ その後 学校と地域の

> が、一人の犠牲者も出すこを受けた山田町立船越小学校 0) 基調講演が行われました。 」代表理事 竹原和泉さん 〇法人 まちと学校のみら 東日本大震災で津波の被害

> > ている事を知って、地域を巻は自分たちだ」と誇りを持っあり、「学校を支えているの

き込んだ情報共有の大切さを

語られました。

校長先生に進言したか らで、定期的に異動す できない、地域に精通 できない、地域に精通 できない、地域に精通 がけたとのことでした。 分けたとのことでした。 きさにいち早く気付き、 校 務員さんが津波の大

外生活体験で、アメリ をでで表しているこ がでの大生が誰である」 がでの大生が誰である」 とかを把握しているこ とかを把握しているこ とがを把握しているこ とに と の一部に学校税が域の人々は固定資馬き、理由をきく

タフな子どもを育てよう! ~心豊かでたくましい子どもを育てるために~

して、精神的にも肉体的にもなことを言われたり受けたり 素晴らしいものがあり、 に思う。今は、個々の実力は、 結力があり、試合では素晴ら 強かった。今ここにかける団 ているのは、「昔は、理不尽 ジャー平尾誠二氏の講演を聞 きました。 平尾氏の講話で印象に残っ いプレーで勝っていたよう グビー部ゼネラル基調講演では、神 マネー 戸 製鋼

う。 入ってきてしまい、なかなかうと思っていても、間に親が もにかかわる時間が多いためて大変困っている。親が子ど 面も増えてきて、 うまく諭すことが出来ない場 ではないかと思っている。ま 的にも弱くなってしまったよ た、子どもたちに指導をしよ 合になるとなぜか負けてしま 準備は完璧なのだが、 コミュニケーション不足 子どもが精神的にも肉体 指導者とし いざ試

> を実感することが出来る。」が出来る。やったら出来る! が出来ました。 タフな子どもを育てることに とお話しされ、スポーツが、 晴らしさは何か?という問い した。最後に、スポーツの素 いるのではないかと反省しま をそうではなくしてしまって 来ならば「タフである子ども」 うに思う。」という て、親のかかわり方が、 「出来なかったことが出来 り方が、本りお話を聞

ばならいこと』を論点に据 パネルディスカッションで 私たちがやらなけ

未来への見通しがわかりやい環境。関心を寄せる人。【心分野】安定し過ごしやす ながる。 全な社会に守られて【社会分野】基盤は、 【身体分野】、大人の行動が子 【教育分野】 境が必要である。 ŋ る。 すく示されている必要があ どもたちを変えることにつ からタフさが育つ。 他人との いる環安心安 かかわ

ちとのかかわり方について有各分野の方々から、子どもた 意義なお話を聞くことが出来

育てたいのは 子どもたちの未来。

「高校生国際交流プログラム」協賛 「いじめ防止標語コンテスト」開催 「エコキャップ推進協会」への支援 「がん健診企業アクション」への参加 「新日本フィルハーモニックオーケストラ」 協賛 ほか

AIU損害保険株式会社

神戸支店 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-3 問合せ: 078-360-2401 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く



東京海上日動は、1999年度からNGO'をパートナーに、地球温暖化の抑制に役立つマングローブの植林をはじめました。それから10年、「海の森」ば5,000haを超える面積にひろがりました。マングローブ「海の森」づくりは、東京海上日動が地球の未来にかけた保険。100年間植林を継続することを目指し、取り組んでまいります。 *「マングローブ植林行動計画」「財団法人オイスカ」(1999年度〜)「国際マングローブ生態系協会」(2009年度〜)

東京海上日動火災保険株式会社

東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050 ■ 0120-868-100 午前9時~午後8時(平日、土日祝とも) http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/

アル通りに進められるも です。子育ては、マニュ の配慮をすることが必要 できるように、両親はお加し、その影響力を発揮父親が子育てに自然に参

く役割があります。そして、 な母子関係を修正してい することで、密着しがち

互いにパートナーとして

お父さんの研 彦根市PTA連絡協議会の取り組み ~ お父さん、出番ですよ! 修会

「スマホ

B

必需品

?

ケイタイ・スマホとの

付き合い方を考える研修会

高島市立静里なのはな園

は違った視点で子育てを えは共有しつつも母親と なってきたと言われて 善悪の躾がおろそかに 父親は、基本的な考 家庭での父親 社親会の

ん方が参加されて好評を毎年300人近いお父さ国的にも珍しいのですが、異まって行う研修会は、全 す。基本的に父親のみがロングランの取り組みでんと16回目の開催となる は、平成二十六年度でな考える「お父さんの研修会」 得ています。 親の 共催事業で行われる父 の子育て教育の秘訣を

子の健やかな成長を願い、のではありません。わが

地域や社会全体に関わる

ためにまず、親自身が子育 ことができる人に育てる

ネルディスカッションな形式で参加型のものやパ れるとか。 を感じて涙する方もおら 父さん方には共感や感動 ど、毎年色々な手法で行っ 7 講演やワークショップ います。 参加されたお

愛荘町・多賀町・甲良町・

|郷町の旧湖東ブロック

そんな思いから、彦根市・

A連絡協議会団体の紹介

から引用)

挑戦することが大切です。

〈彦根市ホームページPT

ての大切さを理解し努力・

見えるのかもしれません。 までと違う家庭の風景が を実践的に学ぶことで、今 庭や子どもへの関わり方 庭教育手帳より)父親の家は要注意。」(文部科学省家 そう思っているお父さん 「子育ては母親の仕事、

> 育園で、 園で、幼稚園PTAと保 と保育園が一体型の幼児 私たちの園は、幼稚園 しています。 親の会が一緒に活

い時に、スマホでゲー静かに待っていてほ 護者がラインやフェイス と言ったらどうする?保 をさせてしまう。 話しも聞きます。 ブックに悩まされて 「ゲームやスマホがほしい_ 子どもが いる

る保護者のスマホやケイ招きして、幼児期におけ所の川合ちえみ先生をおそこで、情報教育研究 すればいいか九月五日研 タイの付き合い方をどう 修会を開催しました。

で写真をアップするリン スマホ(コンピューター)

親として勉強しよう PTA活動に参加して

いっておられる親御さん、多いと思いますが、そう るのでしょうか。」 親としての勉強ができて 言っておられる親御さんは いて会長さんが 「子どもに勉強しなさいと と言われていましたが、 ある市のPTA大会にお

はないでしょうか。して勉強の一助となるので 中で学校行事やPTA活動 への積極的な参加が、 仕事や家事、多様な日々の

> が大切」と、教えて頂き解して、考えて使うこと ことは、ならぬものです いんだ (宮崎駿)」 「ならぬ とは、たいてい面倒くさ ました。そして「大事なこ くトラブルを例に挙げて、 う怖さ…等々、わかりやす のに好意的に読んでしま とができました。 い出も交えてのお話で、今、 大切なことを確認するこ スクや文字に表情はない (会津什のおきて)」を紹介 マイナス面がある事を理 先生の子育て中の思

とが、宿題となりました。 父母、家族みんなで守るこ ルール」を考えて、親、 最後には、「我が 家 祖の



後

記

会が考える機会になったていましたが、」と、研修 様子でした。 ていましたが、」と、研だからと、スマホを使 なく・便利だから・ アンケートでは、 「何と 簡

ちの未来を見すえて、五年十年先の子ども 後もみんなで考え、取り んで行きたいと思います。 今



十一月四日 大阪国際会議場にて 火

大会スローガン 「こころから こころへ」

りました。 も貴重な提案がたくさんあ きました。分科会において の良いお話を聞くことがで 負け勝ち」と題して、子育 監督柳本晶一氏の「人生、 ピックバレーボール全日本 日小学校PTAの発表があ てや親育ち、人間力アップ 三〇〇〇人もの大勢の参 記念講演では、 滋賀県から甲賀市立油 元オリン

次年度開催地私たちの滋賀加でした。大会の最後には、 県へ、大会旗が引き継がれ

どもや親たちを取り た。 巻く問題を追及しまし 親の親育ち等「今」子 す。今回は、歯を大切 の木々が色づいていま に、スマホの問題 いつの間にか周

様々な課題が起こっ時代が進むにつれ さんも子どもと向き合 の記事をきっかけに皆 てきます。「みずいろ」 ちょっと考えてみ

*** PTA安全会より ***

PTA行事参加中に事故が起こったら… 各単位PTAを通じ下記へご連絡ください。



取扱代理店

(株)アーク・スリー・インターナショナル

〒520-0051 大津市梅林一丁目3-25 大津駅前1st森田ビル4F TEL(077)527-6823 FAX(0120)527-606 (平日:9時30分~17時まで)

滋賀県PTAホームページ http://www.shiga-pta.jp/

平成27年(2015年)11月6日(金)

ック PTA 研究大会滋賀県大会



つなげよう未来へ」 「つながろう今 ~すべては子どもたちのために~





全体会 びわ湖ホール 分科会 大津プリンスホテル